



平成30年10月22日

報道関係者 各位

国立大学法人帯広畜産大学

「帯広畜産大学農業共生圏高度専門家育成事業」講習会の開催について

帯広畜産大学は、人の経済活動と生物の多様性が両立した農業共生圏の実現に向けて、野生生物の保安全管理に関する基本的な知識と技術を持つ人材の育成を目指し、以下の内容で講習会を開催します。つきましては、本事業の取材についてご協力をお願いいたします。

記

■平成30年度 野生生物保安全管理講習会

1. 実施目的 自然生態系における生物の多様性を両立し、農業生態圏と自然生態圏の共生を実現できる「農業共生圏高度専門家」の育成を目指します。  
また、社会人と学生が共に学ぶことにより、企業間のネットワークづくりと学生の就職観の醸成、関連業態への理解向上を目的とします。
2. 日 時 平成30年10月23日（火）から10月25日（木）
3. 参加者 （1）環境コンサルタント等民間企業や行政機関において、野生生物の保安全管理に関する業務を担当し、野生生物の保安全管理に関する基本的な知識と技術の習得によるスキルアップを目指す方  
（2）野生生物関連の職種への就職を検討する学生  
合計43名
4. 実施内容 添付の実施要項をご参照ください。

■特別講義 アライグマ学

1. 実施目的 特定外来生物であるアライグマは、分布の拡大により生態系への影響のみならず農畜産業にも被害を及ぼしています。講習・実技を通してアライグマを防除するためにより効果的な罠の設置方法等を学び、捕獲技術の向上を目指します。
2. 日 時 平成30年10月26日（金）10:00～15:00
3. 参加者 十勝管内地方自治体職員、環境コンサルタント系企業職員、本学学生  
合計25名
4. 実施内容 添付の要項をご参照ください。

5. その他 本講習会終了後 15 時より、アライグマ専用罠の開発をしている埼玉県農業技術研究センターの小川主任より、埼玉県におけるアライグマ防除の取組みとその実績について情報提供いただきます。

【お問い合わせ】

国立大学法人帯広畜産大学 国際・地域連携課 地域連携係 小島・長谷川

電話：0155-49-5776/5348 FAX：0155-49-5289 E-mail：[syogai@obihiro.ac.jp](mailto:syogai@obihiro.ac.jp)

## 平成30年度 野生生物保全管理講習会

人の活動は様々な面で野生生物に影響を与えており、種の減少・絶滅の主な要因となっています。一方で、野生生物による農畜産物への被害等、野生生物が人の活動に与える影響も少なくありません。特に十勝地方は農畜産業を基幹産業としており、人と野生生物がどのように関わっていくべきかが大きな課題となっています。

国立大学法人帯広畜産大学は、北海道の基幹産業である農畜産業を始めとする経済活動と、自然生態系における生物の多様性を両立し、農業生態圏と自然生態圏の共生を実現できる「農業共生圏高度専門家」の育成を目指し、以下の内容で講習会を実施します。

なお、この講習会は、帯広畜産大学の学生も受講を予定しています。受講生の皆様と共に学ぶことで、学生の就職観の醸成と関連業態への理解がより深まることを期待しています。

1. 募集人員： 20名（先着）  
※1機関につき原則として2名までとさせていただきます。  
3名以上のご参加を希望される場合、事前にご相談下さい。  
ただし、座学のみので講座を選択して受講する場合は特に定員を定めません。
2. 講習内容： 座学及びフィールドでの実技を通じて野生生物の保全管理に関する正しい知識と技術を習得する。
3. 対象者： 環境コンサルタント等民間企業や行政機関において、野生生物の保全管理に関する業務を担当し、野生生物の保全管理に関する基本的な知識と技術の習得によるスキルアップを目指す方
4. 目指す人材像： 人の経済活動と生物多様性が両立した農業共生圏の実現に向けて、野生生物の保全管理に関する基本的な知識と技術を持つ人材の育成を目指します。
5. 本講習会を受講することで期待される効果：
  - (1) 野生生物の保全と管理に関する講義を受講することで、キャリアアップの参考となる幅広い基礎知識・基礎技術の習得（特に新規採用～中堅職員）
  - (2) 野生生物の保全・管理の概念や知識を習得することにより、新たな事業展開および効果的な保全管理計画策定のきっかけづくり
  - (3) 様々な企業、業種の方と共にグループディスカッションを中心とした講義を受講することで、コミュニケーション能力と合意形成能力の向上が図られるとともに、業種内・業種間のネットワークの構築

6. 修了認定等： 全日程を受講された方には、国立大学法人帯広畜産大学が発行する「野生生物保全管理講習会修了証書」を授与します。また、希望者には一般社団法人建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム受講証明書を発行します。
7. 開 講 日 時： 10月23日（火） 9：30～17：50  
10月24日（水） 8：30～18：20  
10月25日（木） 9：00～17：00
8. 実 施 場 所： 帯広畜産大学 総合研究棟 I 号館 E2503会議室 他
9. 講 義 日 程 等： 別紙1及び2をご参照ください。
10. 受 講 料： ①全て受講する場合 37,000円  
②講座を選択して受講 3,000円／1講義（座学のみ）  
講座を選択して受講した場合、修了認定、CPD認定には該当しません。
11. 支 払 方 法： 受講の一週間前までに指定の銀行口座までお振込みください。  
受講決定のお知らせに併せて、振込先等詳細についてご案内いたします。  
お支払いいただいた受講料はいかなる理由があっても返金いたしませんのでご了承ください。
12. 募 集 期 間： 平成30年7月17日（火）から8月10日（金）まで
13. 応 募 書 類： 別紙応募用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局までメールでご送付ください。  
要項および応募用紙は帯広畜産大学HPトップページ「お知らせ・募集案内」からダウンロードしていただけます。
14. 提 出 ・ 問 合 せ： 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地  
国立大学法人帯広畜産大学 国際・地域連携課  
TEL：0155-49-5776 E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp
15. 申 込 結 果： お申し込み後、1週間以内に参加の可否についてご連絡いたします。  
1週間以上経っても連絡がない場合、恐れ入りますが問合せ先までご連絡ください。
16. 宿 泊 について： 宿泊先のあっせんは行いませんので、各自手配ください。

17. そ の 他： 講習会の翌日10月26日には、十勝管内の行政機関職員を主な対象とした特別講義を開催いたします。定員（先着）がありますので、お早めにお申し込みください。

講義名称：アライグマ学                      定員：先着10名  
開催日時：平成30年10月26日    10：00～15：00  
会 場：帯広畜産大学及び帯広川河畔林（予定）  
          本学よりバスで移動いたします。  
講義概要：北海道内で個体数の著しい増加が認められるアライグマを捕獲するための知識と罠設置技術を、フィールドワークを通じて学ぶ。  
備 考：参加希望の方は、本講習会の申込書にて併せてお申し込み下さい。

**【個人情報の取扱いについて】**

- (1) 国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

## 講義日程

|              | 日程          | 時間    | 講義名            | 講師                                     | 分野 |
|--------------|-------------|-------|----------------|--|----|
| 10/23<br>(火) | 9:30~10:00  |       | 開講式・アイスブレイク    |  |    |
|              | 10:00~11:00 | 1     | 野生生物管理のための法律学  | 帯広畜産大学 野原香織<br>十勝総合振興局                 | 共通 |
|              | 11:10~12:10 | 1     | 外来生物と生物多様性     | 帯広畜産大学 浅利裕伸                            | 共通 |
|              | 13:30~15:00 | 1.5   | 野生生物捕獲法        | 帯広畜産大学 浅利裕伸                            | 共通 |
|              | 15:10~16:40 | 1.5   | 野生生物保全技術       | 帯広畜産大学 柳川 久                            | 共通 |
|              | 16:50~17:50 | 1     | 野外調査のリスク管理     | 帯広畜産大学 佐々木基樹<br>帯広畜産大学 浅利裕伸            | 共通 |
|              | 19:00~      | 情報交換会 |                |  |    |
| 10/24<br>(水) | 8:30~12:30  | 4     | 野生生物調査法 (I・II) | 帯広畜産大学 浅利裕伸<br>帯広百年記念館 大熊 勲            | 共通 |
|              | 13:30~15:00 | 1.5   | 十勝の野生生物と保全     | 帯広畜産大学 浅利裕伸<br>北海道ラプターコンサベーション<br>平井克亥 | 保全 |
|              | 15:10~16:40 | 1.5   | 野生生物の交通事故      | 北海道開発技術センター<br>野呂美紗子                   | 保全 |
|              | 16:50~18:20 | 1.5   | 希少植物の保全        | 帯広畜産大学 佐藤雅俊                            | 保全 |
| 10/25<br>(木) | 9:00~10:00  | 1     | データ解析入門        | 帯広畜産大学 赤坂卓美                            | 共通 |
|              | 10:10~12:10 | 2     | インタープリター学      | 株式会社 自然教育研究センター                        | 共通 |
|              | 13:30~15:00 | 1.5   | 十勝の野生生物と管理     | 帯広百年記念館 大熊 勲<br>北海道立総合研究機構<br>山口英美     | 管理 |
|              | 15:10~16:40 | 1.5   | 獣害防除学          | 株式会社 地域環境計画                            | 管理 |
|              | 16:40~17:00 |       | 閉講式            |  |    |

## 講義内容（共通分野）

| 講義名称          | 講義内容   | 形態       | 時間    | 選択受講 |
|---------------|--|----------|-------|------|
| 野生生物管理のための法律学 | 野生生物の保全管理を行う上で遵守する必要がある「動物の愛護及び管理に関する法律」や「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」など、関連法規の基礎知識を学ぶ。              | 座学       | 1 h   | ○    |
| 外来生物と生物多様性    | 外来生物の分布拡大による生態系や生物多様性への影響が世界的に問題視されている。外来生物が生物多様性に与える影響について学ぶ。                                   | 座学       | 1 h   | ○    |
| 野生生物捕獲法       | 野生生物の捕獲は個体数管理のためだけでなく、その地域に生息する種の把握や生態的特性を知るために必要な作業である。動物種の大きさに応じた罠を用いて、野生生物の捕獲方法について学ぶ。        | 座学<br>実技 | 1.5 h | ×    |
| 野生生物保全技術      | 多様な種が存在する野生生物の保全管理を行う上で、対象種ごとに適した保全対策を講じる必要がある。野生生物の各分類群について、国内外の保全事例を紹介するとともに、生態を踏まえた保全の考え方を学ぶ。 | 座学       | 1.5 h | ○    |
| 野外調査のリスク管理    | 危険生物との遭遇や危険な場所での作業等、野外調査に伴う多くのリスクに対応するため、クマやハチ等と遭遇した際の対応に加え、遭難時の対応等についてグループディスカッションを交えて学ぶ。       | 座学       | 1 h   | ○    |
| 野生生物調査法Ⅰ      | 野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（痕跡調査法、双眼鏡による観察）について学ぶ。                          | 座学<br>実技 | 2 h   | ×    |
| 野生生物調査法Ⅱ      | 野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（地形図判読、自動撮影カメラ、テレメトリー法）について学ぶ。                   | 座学<br>実技 | 2 h   | ×    |
| インタープリター学     | 野生生物の保全管理を行う上で収集した情報（生態、個体数等）を的確かつ適切に活用するために、得られた情報を地域住民や顧客に対して効果的に伝達する手法を学ぶ。                    | 座学       | 2 h   | ○    |
| データ解析入門       | 野生生物の調査で得られたデータを適切に整理し、保全や管理に活用するためのデータ解析に関する基礎的な方法について学ぶ。                                       | 座学       | 1 h   | ○    |
| 計             |  |          | 13 h  |      |

### 講義内容（保全分野）

| 講義名称       | 講義内容   | 形態 | 時間    | 選択受講 |
|------------|--|----|-------|------|
| 十勝の野生生物と保全 | 防風林は十勝を代表する農地景観であり、ここに生息する野生生物は土地改良などによる影響を受ける。大きな影響が懸念される「樹上性哺乳類」と「猛禽類」について、十勝における生態と保全の考え方を学ぶ。 | 座学 | 1.5 h | ○    |
| 野生生物の交通事故  | 道路網の発達は人の生活を豊かにする一方で、野生生物の生息地を分断することで、野生生物と車両の事故原因の一つとなる。事故数が多いエゾシカやタヌキ等の交通事故の現状と対策を学ぶ。          | 座学 | 1.5 h | ○    |
| 希少植物の保全    | 希少植物の保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。  | 座学 | 1.5 h | ○    |
| 計          |  |    | 4.5 h |      |

### 講義内容（管理分野）

| 講義名称       | 講義内容  | 形態 | 時間    | 選択受講 |
|------------|---|----|-------|------|
| 十勝の野生生物と管理 | エゾシカやアライグマは十勝の農畜産業に対して大きな影響を与える。効果的な管理のため、これらの生態と被害の特徴、管理の考え方について学ぶ。                        | 座学 | 1.5 h | ○    |
| 獣害防除学      | 農畜産業にとって獣害は経営に大きな影響を与えるものである。動物種や地域によってその被害や対策方法は異なるため、その生態や地形による課題を踏まえて罠や電気柵などの防除方法について学ぶ。 | 座学 | 1.5 h | ○    |
| 計          |   |    | 3 h   |      |



国立大学法人帯広畜産大学農業共生圏高度専門家育成事業

## 特別講義 アライグマ学

### 1. 本講義の目的

特定外来生物に指定されているアライグマは、全国で分布が拡大しており、生態系への影響が懸念されているだけでなく、農畜産業にも被害を及ぼしています。

そのため、各地で駆除が実施されていますが、効果的に防除を図っていくためには本種の生態や対象地域の土地利用などを考慮する必要があります。

本講習では、効果的な防除を行うために必要不可欠な罠の設置について、豊富な捕獲経験を有した講師による講習・実技を通して、より効果的な捕獲技術を体得することを目指します。

|          |                       |         |
|----------|-----------------------|---------|
| 2. 対象・定員 | アライグマ対策に関連する十勝管内市町村職員 | 20名程度   |
|          | 野生生物保全管理講習会参加者        | 10名程度   |
|          |                       | 合計30名以内 |

3. 受講料 無 料

4. 開催日時 平成30年10月26日（金） 10:00～15:00

5. 開催場所 帯広畜産大学総合研究棟I号館E2503会議室  
帯広川河畔林（予定）※本学よりバスで実習場所まで移動

6. 服装 マダニ対策等のため、長袖、長ズボン、帽子、長靴を着用下さい。

7. 募集期間 平成30年7月17日（火）から8月10日（金）まで

8. 申込方法 別紙応募用紙に必要事項を記入のうえ、事務局までメールでご送付ください。

要項および応募用紙は帯広畜産大学HPトップページ「お知らせ・募集案内」からダウンロードしていただけます。

9. 事務局 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人帯広畜産大学 国際・地域連携課

電話：0155-49-5776 メール：[wildlife@obihiro.ac.jp](mailto:wildlife@obihiro.ac.jp)

10. 昼食について 帯広の森研修センターにて昼休憩を予定しています。  
昼食には研修センター内レストランがご利用いただけます。
11. そ の 他 お申し込み後、1週間以内に参加の可否についてご連絡いたします。  
1週間以上経っても連絡が無い場合、恐れ入りますが問合せ先までご連絡ください。  
集合場所等の詳細につきましては、受講決定のお知らせに併せてご連絡いたします。

**【個人情報の取扱いについて】**

- (1) 国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。